

<第3学年　日本語評価基準>

単元名	ねらい	評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語の響きやリズムを楽しもう<1>詩①	詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、詩の様子を思い浮かべながら工夫して音読することができる。	おおよその意味を知り、詩に描かれた情景や思いを描くことができる。	詩を何度も繰り返し朗誦することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。
日本の四季・年中行事②	身近な年中行事について学び、大切にしようとする意欲を高める。	日本には季節にちなんだ年中行事があることを知り、日本や世田谷区の行事を調べることができる。	知っている年中行事について話し合うことができる。	身近な年中行事を通して、日本文化を大切にしようとする気持ちをもつことができる。
ことばっておもしろい②	「同音異義語」について理解し、ことばについての興味・関心を高める。	同じ言葉であっても異なる意味を持たせるアクセントに気付き、正しく発音することができます。	辞書を引いて同音異義語を調べたり、同音異義語を使い文を作ったりすることができます。	すんで調べたり、文を作ったりして言葉に対する関心を深めようとしている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<2>漢詩①	漢詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、漢詩を工夫して音読することができる。	おおよその意味を知り、漢詩に描かれた情景や思いを話し合うことができる。	漢詩を何度も繰り返し朗誦することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。
世田谷区の地名の由来①	世田谷区の地名には、それぞれ名付けられた由来があることを知り、地域の昔のことや、人々が大切にしてきた思いなどを知る。	世田谷区の地名には、それぞれ名付けられた由来があることを知り、地域の昔のことや、人々が大切にしてきた思いなどを理解する。	世田谷の地名や由来を調べることができます。	自分の住む地域の学習を通して、郷土を大切にしようとする気持ちをもつことができる。
日本語の響きやリズムを楽しもう<3>俳句①	俳句を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	季節を表すことばを探し、様子を想像しながら読むことができる。	おおよその意味を知り、俳句に描かれた情景や思いを描くことができる。	俳句を何度も繰り返し朗説することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。

世田谷区の郷土カルタ②	世田谷区の地名の由来の学習や社会科の学習で学んだことをもとに、世田谷区の郷土カルタを作り、カルタ取りを楽しむ。	世田谷区の地名の由来の学習や社会科の学習で学んだことをもとに、世田谷区の郷土カルタを作ることができる。	友達とカルタ取りを楽しむことができる。	自分の住む地域の学習を通して、郷土を大切にしようとする気持ちをもつことができる。
日本語の響きやリズムを楽しもう<4>論語①	論語を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、論語を工夫して音読することができる。	日常生活に関連させて考えることができる。	論語を何度も繰り返し朗誦することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<5>漢詩①	漢詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、漢詩を工夫して音読することができる。	おおよその意味を知り、漢詩に描かれた情景や思いを描くことができる。	漢詩を何度も繰り返し朗説することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。
一冊の本から 童話・ファンタジーの世界について語ろう①	今まで読んだ童話・ファンタジーから一番おもしろかった本を選び、心に残ったことについて紹介し合うことができる。	選んだ本の心に残ったことについて、友達に表現する方法を考えることができる。	選んだ本の心に残ったことについて、友達に伝えることができる。	気に入ったお話をすすんで見つけようとしている。
百人一首③	「百人一首」の短歌を、響きやリズムを楽しみながら読み、カルタ取りを楽しむ。	カルタ遊びのルールを知り、友達と短歌の響きやリズムを大切にしながら楽しむことができる。	好きな短歌を見つけ、百人一首の世界に親しんでいる。	百人一首を読み、日本の四季折々の美しさや日本人の奥深い心を味わっている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<6>詩①	詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、詩を工夫して音読することができる。	おおよその意味を知り、詩に描かれた情景や思いを描くことができる。	詩を何度も繰り返し朗誦することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<11>論語①	論語を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。	ことばの響きやリズムを楽しみながら、論語を工夫して音読することができる。	日常生活に関連させて考えることができる。	論語を何度も繰り返し朗誦することを通して、日本語の響きやリズムを楽しもうとしている。